

中期目標の達成状況報告書 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	30 頁 資料(13)-2 システム生命学府	教育 <u>化以前</u> に活用する。	教育 <u>改善</u> に活用する。
2	59 頁 本文 1 行	<u>専</u> 専攻導入科目・・・	専攻導入科目・・・
3	62 頁 資料(40)-2 工学部	<u>物資科学工学科</u>	<u>物質科学工学科</u>
4	64 頁 資料(41)-2 理学部	また、TAが教育現場に直接入り込むことにより、人間的成長などTA自身の教育にもなっている。学生が質問しやすい環境が形成されるとともに、一般的な学習法や講座選びでの助言も得られ、学習以外の日頃の悩みなども打ち明ける事例もある。 <u>また、TAが教育現場に直接入り込むことにより、人間的成長などTA自身の教育にもなっている。</u>	また、TA が教育現場に直接入り込むことにより、人間的成長など TA 自身の教育にもなっている。学生が質問しやすい環境が形成されるとともに、一般的な学習法や講座選びでの助言も得られ、学習以外の日頃の悩みなども打ち明ける事例もある。
5	70 頁 9 行	<u>留学生フェア</u>	<u>留学生フェア</u>
6	71 頁 資料(47) 薬学府	<u>新府学府制度</u> における・・・	<u>新学府制度</u> における・・・
7	91 頁 資料(61)-2 図形科学部会	<u>図学科学 I ～Ⅲ</u>	<u>図形科学 I ～Ⅲ</u>
8	205 頁 資料(174)-2 実施部局等	<u>空宙環境研究センター</u>	<u>宙空環境研究センター</u>
9	227 頁 資料(196) 目的	職員等 <u>という</u> 並びに本学が・・・	職員等並びに本学が・・・

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 1-4 資料 1-1-A 専門分野欄	<u>国語</u> ・国文学	<u>国語学</u> ・国文学
2	教育 1-6 1 行	「・・・参加状況 <u>と</u> それぞれ・・・」	「・・・参加状況 <u>を</u> それぞれ・・・」
3	教育 1-7 1 行	「課題は、」	「課題 <u>について</u> は、」
4	教育 1-8 下から 5 行	学 <u>修</u>	学 <u>習</u>
5	教育 1-9 資料 2-1-D (各科目の目標・ 概要欄)	文学部全体の共通科目で、人文学のコー ア部分を構成する科目で、人文学の基 礎を学ぶ	文学部全体の共通科目で <u>あり</u> 、人文学 のコーア部分を構成する科目で、人文学 の基礎を学ぶ
6	教育 1-9 資料 2-1-D (必修・選択の別 欄)	「・・・古典語および外国語科目は 2 年次以降に履修 <u>。</u> 」	「・・・古典語および外国語科目は 2 年次以降に履修」
7	教育 1-12 下から 2 行、5 行	<u>ウェブ</u> シラバス <u>ウェブ</u> ・シラバス	<u>w e b</u> シラバス
8	教育 1-12, 13 資料 3-1-C	<u>専攻</u> 科目 後期・通常、 2. <u>術</u> 語と項の関係	<u>専門分野</u> 科目 後期・通常 2. <u>述</u> 語と項の関係
9	教育 1-17 下から 5 行	<u>ウェブ</u> シラバス	<u>w e b</u> シラバス
10	教育 1-21 資料 4-2-A	授業改善に役立てるため <u>。</u>	授業改善に役立てるため

	頁数・行数等	誤	正
11	教育 1-21 資料 4-2-B	---- <u>4</u> ---- <u>5</u>	---4---5
12	教育 1-24 本文 5 行	<u>平成 17 年 2 月</u>	<u>平成 14 年</u>
13	教育 1-24 資料 5-2-A	「 <u>多</u> いに役立っている」	「 <u>大</u> いに役立っている」
14	教育 1-26 2 行	教育カリキュラムの継続的な改革とそ の成果の向上	<u>「教育カリキュラムの継続的な改革と その成果の向上」</u>
15	教育 1-26 16 行	一貫して行 <u>な</u> ってきている。	一貫して行 <u>っ</u> てきている。

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 2-8 本文 14 行	<u>2001 年</u>	<u>平成 12 年</u> (あるいは 2000 年)
2	教育 2-8 資料 2-1-B (右側欄)	・・・その本質をめざす	・・・その本質を <u>探ること</u> をめざす
3	教育 2-9 資料 2-1-B (右側欄)	<u>修士論文作成のための</u>	<u>博士論文作成のための</u>
4	教育 2-9 資料 2-1-C (修士 1 年目欄)	(教務課学生第一係へ	(教務課学生第一係へ) <u>　</u>
5	教育 2-9 資料 2-1-C (博士タイトル、 1 年目欄)	博士課程 「博士課程研究計画書」	博士 <u>後期</u> 課程 「博士 <u>後期</u> 課程研究計画書」
6	教育 2-9 資料 2-1-D (タイトル)	博士後期課程の低修得単位数	博士後期課程の <u>最低</u> 修得単位数
7	教育 2-10 資料 2-2-B	<u>科目</u> 等履修生等の在学状況	<u>科目</u> 等履修生等の在学状況 (ゴシック体を明朝体に)
8	教育 2-11 下から 4 行	記載された <u>履修の手引き</u> と	記載された
9	教育 2-11 資料 3-1-D	<u>専門攻</u> 科目	<u>専修授業</u> 科目
10	教育 2-13 本文 7 行	期待される水準を上回る	期待される水準を上回る。 <u>　</u>

	頁数・行数等	誤	正
11	教育 2-14 資料 4-1-C	<u>0</u>	二
12	教育 2-16 資料 4-2-A	満足度、 教員の努力	満足度、教員の努力 (改行しない)
13	教育 2-17 資料 4-2-A	開講価値、 シラバスの書き方の適切性、	開講価値、シラバスの書き方の適切性、 (同上)
14	教育 2-20 1 行	博士課程への進学者	博士 <u>後期</u> 課程への進学者
15	教育 2-21 資料 5-2-B	<u>想像的に</u>	<u>創造的に</u>
16	教育 2-22 1 行、13 行	修了生 <u>たち</u>	修了生 <u>等</u>
17	教育 2-22 7 行	博士課程進学予定者	博士 <u>後期</u> 課程進学予定者
18	教育 2-23 14 行、27 行	「現代文化論」の開講とその継続的見 直し 関係者からの高い評価	<u>「現代文化論」の開講とその継続的 見直し」</u> <u>「関係者からの高い評価」</u>

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 9-19 1 行	TAやRAの制度が活用されている。┘	TA や RA の制度が活用されている。

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 17-5 13 行	<u>情報基盤センター</u>	<u>情報基盤研究開発センター</u>
2	教育 17-10 資料 1-2-G	・平成 18 年度第 3 回日本 <u>e-learning</u> 大賞「文部科学大臣賞」受賞について	・平成 18 年度第 3 回日本 <u>e-Learning</u> 大賞「文部科学大臣賞」受賞について
3	教育 17-42 9 行	平成 18 年度第 3 回日本 <u>e-learning</u> 大賞	平成 18 年度第 3 回日本 <u>e-Learning</u> 大賞

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 18-21 資料 2-2-D	資料 2－2－D 特別研究生・ <u>特別聴講学生</u> の在学状況（毎年 5 月 1 日現在）	資料 2－2－D 特別研究生の在学状況（毎年 5 月 1 日現在）
2	教育 18-21 下から 9 行	<u>修得</u>	<u>習得</u>
3	教育 18-21 下から 5 行	<u>計る</u>	<u>図る</u>
4	教育 18-25 3 行	<u>修得</u>	<u>習得</u>
5	教育 18-34 6 行	<u>選択枝</u>	<u>選択肢</u>

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 20-9 下から 8 行	倫理観を有する事 <u>が</u> 求めるように	倫理観を有する事 <u>を</u> 求めるように
2	教育 20-9 下から 5 行	歯学教育 <u>過程</u>	歯学教育 <u>課程</u>
3	教育 20-13 下から 4 行	<u>FDTA</u>	<u>TA</u>
4	教育 20-21 下から 2 行	平成 19 年 10 月 <u>初旬</u> ~中旬に	平成 19 年 10 月 <u>初旬</u> ~中旬に

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 21-14 本文下から 3 行	<u>平成 18 8 年度</u>	<u>平成 18 年度</u>
2	教育 21-17 本文 3 行	<u>現われている</u>	<u>表われている</u>

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 22-7 下から 6 行	<u>本学府</u> における	<u>本学部</u> における
2	教育 22-11 12 行	九州大学医療系 <u>統合教育</u> センター	九州大学医療系 <u>統合教育研究</u> センター
3	教育 22-17 5 行	<u>教育規則</u> に従い	<u>規則</u> に従い
4	教育 22-19 11 行	<u>父兄</u>	<u>保護者</u>

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 23-2 17 行	<u>設定するとともに、</u>	<u>設定するとともに、</u>
2	教育 23-10 1 行	<u>本学部</u> からも	<u>本学府</u> からも
3	教育 23-10 下から 1 行	配置についても 1－1－H,	配置についても <u>資料</u> 1－1－H,
4	教育 23-11 3～5 行	①教育内容の充実および体系的カリキュラムの編成__②選抜方法の改善__③学生支援の向上__④FD活動の充実__⑤授業評価システムの確立と授業改善への利用等の改善に向けた取組	①教育内容の充実および体系的カリキュラムの編成__②選抜方法の改善__③学生支援の向上__④FD活動の充実__⑤授業評価システムの確立と授業改善への利用等の改善__ <u>に</u> に向けた取組
5	教育 23-20 本文 5 行	<u>業時間外</u> の学習時間を	<u>授業時間外</u> の学習時間を
6	教育 23-25 本文 10 行	<u>本学部</u> の目的を	<u>本学府</u> の目的を
7	教育 23-33 11 行	研究指導方法や	<u>□</u> 研究指導方法や (1 文字下げる)

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 26-2 最終行	・・・を行っている	・・・を行っている。 <u>。</u>
2	教育 26-3 4 行	・・・期待に応えたための・・・	・・・期待に応え <u>る</u> ための・・・
3	教育 26-5 資料 1-1-C 見出し	准教	准教授
4	教育 26-5 資料 1-2-A	・・・のもとでの <u>の</u> 授業改善等・・・	・・・のもとで、 <u>の</u> 授業改善等・・・
5	教育 26-7 資料 1-2-C 平成 16 年度	③18 年度問題とその対応、 <u>④</u> 大学院教育の新展開	③18 年度問題とその対応 <u>、</u> ④大学院教育の新展開
6	同上 平成 18 年度	①新任の研修	①新任 <u>教員</u> の研修
7	教育 26-7 本文 8 行	・・・を通じてあわれてきた・・・	・・・を通じてあ <u>ら</u> わられてきた・・・
8	教育 26-8 8 行	・・・に配置し、低学年 <u>時</u> より・・・	・・・に配置し、低学年 <u>次</u> より・・・
9	教育 26-10 資料 2-1-C 選択必修欄	・・・することを義務 <u>付</u> いている科目	・・・することを義務 <u>づ</u> けている科目
10	教育 26-12 資料 2-2-C オープンキャンパス 平成 17～19 年度欄	②参加者数等：539 名 ②参加者数等：656 名 ②参加者数等：654 名	②参加者数：539 名 ②参加者数：656 名 ②参加者数：654 名

	頁数・行数等	誤	正
11	教育 26-12 資料 2-2-C 公開講座 平成 18, 19 年度欄	参加者数:143 名 参加者数:307 名	____参加者数:143 名 ____参加者数:307 名
12	教育 26-15 本文 13 行	・・・、学内外に公開している〔 <u>（</u> 本 学部ホームページ・・・	・・・、学内外に公開している。 <u>）</u> 〔本 学部ホームページ・・・
13	教育 26-17 本文 6 行	・・・等よる授業内容等に・・・	・・・等による授業内容等に・・・
14	教育 26-18 本文 9 行	・・・学修相談や助言、 <u>（</u> などの・・・	・・・学修相談や助言などの・・・
15	教育 26-18 本文 12 行	・・・オフィスアワー、 <u>（</u> 等の様々な・・・	・・・オフィスアワー等の様々な・・・
16	教育 26-18 本文下から 3 行	・・・を促す取組において・・・	・・・を促す取組 <u>み</u> において・・・
17	教育 26-19 13 行	・・・、前者は 2 年終了時の・・・	・・・、前者は 2 年 <u>次</u> 終了時の・・・
18	教育 26-19 本文下から 2 行	・・・、各学年 <u>時</u> において学生は・・・	・・・、各学年 <u>次</u> において学生は・・・
19	教育 26-24 7 行	過去 4 年間の卒業生数は・・・	<u>（</u> 過去 4 年間の卒業生数は・・・
20	教育 26-24 資料 5-1-B 産業別、教育、学 習支援業、平成 19 年度	—	<u>0</u>
21	教育 26-24 資料 5-1-C	<u>日本放送協会</u>	<u>NHK</u>
22	教育 26-26 最終行	・・・教育の成果が <u>（</u> ・効果が・・・	・・・教育の成果・効果が・・・

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 27-2 10 行	・・・及び「デザインストラテジー」の・・・	・・・及び「デザインストラテジー <u>専攻</u> 」の・・・
2	教育 27-3	＜“先導的デジタルコンテンツ創成支援ユニット”、“教育プログラム概要”の最終行＞ ・・・から教育プログラムを開始。	・・・から教育プログラムを開始
3	同上	＜表中の２つ目のプログラム名＞ 21 世紀COEプログラム「 <u>感性</u> 特性に基づく人工環境デザイン拠点形成」	21 世紀COEプログラム「 <u>感覚</u> 特性に基づく人工環境デザイン拠点形成」
4	同上	＜“ホールマネジメントエンジニア育成ユニット”、“教育プログラム概要”の 7 行目＞ ・・・（「ホールマネジメントエンジニア」の・・・	・・・（「ホールマネジメントエンジニア」）の・・・
5	教育 27-4 10 行	・・・デザインストラテジー専攻（修士課程）での・・・	・・・デザインストラテジー専攻（修士課程） <u>）</u> での・・・
6	教育 27-5 本文 7 行	准教授、・・・ ・・・研究指導補助教員数は、・・・	准教授、・・・ ・・・研究指導補助教員数は、・・・
7	教育 27-9 本文 4 行	・・・、「芸術工学専攻」及び「デザインストラテジー」の 2 専攻・・・	・・・、「芸術工学専攻」及び「デザインストラテジー <u>専攻</u> 」の 2 専攻・・・
8	教育 27-9 本文 16 行	・・・改善の <u>取り組み</u> として・・・	・・・改善の <u>取組み</u> として・・・
9	教育 27-9 本文 21 行	・・・する取組を行っている。	・・・する取組 <u>み</u> を行っている。
10	教育 27-11 3 行	履修するように・・・ デザインストラテジー専攻では、・・・	履修するように・・・ <u>）</u> デザインストラテジー専攻では、・・・
11	教育 27-11 3 行	・・・教育目的達成ため、・・・	・・・教育目的 <u>の</u> 達成ため、・・・

	頁数・行数等	誤	正
12	教育 27-11 本文 10 行	・・・推進できる能力	・・・推進できる能力。 <u>。</u>
13	教育 27-11 資料 2-1-D プロジェクト科目 欄	・・・や実行力を身につける	・・・や実行力を身につける。 <u>。</u>
14	教育 27-12 本文 3 行	・・・学生との接触など通じて・・・	・・・学生との接触など <u>を</u> 通じて・・・
15	教育 27-12 本文 7 行	・・・向上であると把握し資料・・・	・・・向上であると把握し、 <u>資料</u> ・・・
16	教育 27-13 3 行	・・・やホール設計・ 設備などの・・・	・・・やホール設計・設備などの・・・ (改行しない)
17	教育 27-13 資料 2-2-A	<デザインストラテジー専攻「プロジ ェクト科目」> ・・・実行力を身につける	・・・実行力を身につける。 <u>。</u>
18	教育 27-13 資料 2-2-B 研究生	・・・志願する者。 <u>。</u>	・・・志願する者
19	教育 27-14 16 行	・・・した <u>ケースステディ</u> 型の・・・	・・・した <u>ケーススタディ</u> 型の・・・
20	教育 27-14 下から 5 行	・・・。「ホールマネジメントエンジニ ア育成ユニット」 <u>で</u> は・・・	・・・。「ホールマネジメントエンジニ ア育成ユニット」は・・・
21	教育 27-15 最終行	・・・、公開している〔 <u>本学部</u> ホー ムページ・・・	・・・、公開している。 <u>。</u> 〔 <u>本学</u> 府ホー ムページ・・・
22	教育 27-18 ヘッダー	九州大学芸術工学府 分析項目 <u>Ⅱ</u>	九州大学芸術工学府 分析項目 <u>Ⅳ</u>
23	教育 27-18 4 行	(観点に係る <u>状</u> 状況)	(観点に係る状況)

	頁数・行数等	誤	正
24	教育 27-19 ヘッダー	九州大学芸術工学府 分析項目Ⅲ	九州大学芸術工学府 分析項目Ⅳ
25	教育 27-20 ヘッダー	九州大学芸術工学府 分析項目Ⅲ	九州大学芸術工学府 分析項目Ⅳ
26	教育 27-20 資料 4-1-E 学生M欄	(社) 建設組 コンサルタント 協会九州支部	(社) 建設 コンサルタント 協会九州支部
27	教育 27-20 資料 4-1-E 学生U欄	日本 <u>整理</u> 人類学会	日本 <u>生理</u> 人類学会
28	教育 27-21 ヘッダー	九州大学芸術工学府 分析項目Ⅲ	九州大学芸術工学府 分析項目Ⅳ
29	教育 27-21 資料 4-2-A	<u>実施対</u> <u>象</u>	<u>実施対象</u>
30	教育 27-22 ヘッダー	九州大学芸術工学府 分析項目Ⅲ	九州大学芸術工学府 分析項目Ⅳ
31	教育 27-22 資料 4-2-B	全く効果的でない <u>十分効果的で</u> <u>ある</u>	全く効果的でない <u>十分効果的である</u>
32	教育 27-23 ヘッダー	九州大学芸術工学府 分析項目Ⅲ	九州大学芸術工学府 分析項目Ⅳ
33	教育 27-24 資料 5-1-B(1) 職業別欄	<u>大学等の教</u> <u>員</u>	<u>大学等の教員</u>
34	教育 27-25 資料 5-1-C 就職欄	<u>日本放送協会</u>	<u>NHK</u>
35	同上	<u>バンダイ</u>	<u>(削 除)</u>

	頁数・行数等	誤	正
36	同上	モバイルコミュニケーションズ <u>鹿島建設</u> 、	モバイルコミュニケーションズ、
37	同上	<u>NHK</u>	<u>(削 除)</u>
38	同上	<u>、富士通、大日本印刷</u>	<u>(削 除)</u>
39	教育 27-26 資料 5-1-C	公務員 3、営業・マーケティング 3 等	公務員 <u>3</u> 、営業・マーケティング <u>3</u> 等
40	教育 27-28 本文 10 行	・・・向上においては <u>は</u> 、企業が・・・	・・・向上において、企業が・・・
41	教育 27-28 本文 11 行	・・・に示すよう <u>な</u> に修了生に・・・	・・・に示すように修了生に・・・
42	教育 27-29 ②事例 2 21 行	・・・デザインストラテジー専攻（修士課程）での・・・	・・・デザインストラテジー専攻（修士課程） <u>）</u> での・・・
43	教育 27-29 ②事例 2 22 行	・・・する学府再編 <u>が</u> 行つた。また、・・・	・・・する学府再編 <u>を</u> 行つた。また、・・・

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正																														
1	教育 29-3 7 行	<u>学国際性</u>	<u>学際性及び国際性</u>																														
2	教育 29-4 資料 1-1-A	大気海洋環境システム学専攻の講座名の漏れ	大気海洋環境システム学専攻の環境予測学の次に「 <u>海洋機器開発学講座</u> 」を追加																														
3	教育 29-7 3 行	学務委員会で審議 <u>し</u> 、	赤フォントを黒フォントに修正 学務委員会で審議 <u>し</u> 、																														
4	教育 29-7 資料 1-2-A	<table><tr><td>改善に向けた実施体制と取組</td><td>【教育充実のための取組】 ②平成 1 8 年度・・・。</td></tr></table>	改善に向けた実施体制と取組	【教育充実のための取組】 ②平成 1 8 年度・・・。	罫線の削除 <table><tr><td>改善に向けた実施体制と取組</td><td>【教育充実のための取組】 ②平成 1 8 年度・・・。</td></tr></table>	改善に向けた実施体制と取組	【教育充実のための取組】 ②平成 1 8 年度・・・。																										
改善に向けた実施体制と取組	【教育充実のための取組】 ②平成 1 8 年度・・・。																																
改善に向けた実施体制と取組	【教育充実のための取組】 ②平成 1 8 年度・・・。																																
5	教育 29-8 資料 1-2-A	<table><tr><td></td><td>③平成 1 9 年度・・・。</td></tr></table>		③平成 1 9 年度・・・。	罫線の削除 <table><tr><td></td><td>③平成 1 9 年度・・・。</td></tr></table>		③平成 1 9 年度・・・。																										
	③平成 1 9 年度・・・。																																
	③平成 1 9 年度・・・。																																
6	教育 29-8 資料 1-2-B	<u>平成 1 6 年</u> _____ 度	文字のずれ修正 <u>平成 1 6 年度</u>																														
7	教育 29-10 6 行	修了要件を定め <u>し</u>	赤フォントを黒フォントに修正 修了要件を定め <u>し</u>																														
8	教育 29-13 資料 2-1-D	<table><tr><td>修士課程</td><td>総単位数</td><td>修了要件</td></tr><tr><td>量子・・・</td><td>30</td><td>・・・できる。</td></tr><tr><td>物質・・・</td><td>30</td><td>・・・できる。</td></tr><tr><td>先端・・・</td><td>30</td><td>・・・できる。</td></tr><tr><td>環境・・・</td><td>30</td><td>・・・できる。</td></tr></table>	修士課程	総単位数	修了要件	量子・・・	30	・・・できる。	物質・・・	30	・・・できる。	先端・・・	30	・・・できる。	環境・・・	30	・・・できる。	罫線の削除 <table><tr><td>修士課程</td><td>総単位数</td><td>修了要件</td></tr><tr><td>量子・・・</td><td>30</td><td>・・・できる。</td></tr><tr><td>物質・・・</td><td>30</td><td>・・・できる。</td></tr><tr><td>先端・・・</td><td>30</td><td>・・・できる。</td></tr><tr><td>環境・・・</td><td>30</td><td>・・・できる。</td></tr></table>	修士課程	総単位数	修了要件	量子・・・	30	・・・できる。	物質・・・	30	・・・できる。	先端・・・	30	・・・できる。	環境・・・	30	・・・できる。
修士課程	総単位数	修了要件																															
量子・・・	30	・・・できる。																															
物質・・・	30	・・・できる。																															
先端・・・	30	・・・できる。																															
環境・・・	30	・・・できる。																															
修士課程	総単位数	修了要件																															
量子・・・	30	・・・できる。																															
物質・・・	30	・・・できる。																															
先端・・・	30	・・・できる。																															
環境・・・	30	・・・できる。																															

	頁数・行数等	誤	正												
9	教育 14頁・資料 2-1-D	<table><tr><td></td><td></td><td>に合格・・・ 取得できる。</td></tr><tr><td>大気・・・</td><td>30</td><td>専攻授業科目 の・・・・・・ 取得できる。</td></tr></table>			に合格・・・ 取得できる。	大気・・・	30	専攻授業科目 の・・・・・・ 取得できる。	罫線の削除 <table><tr><td></td><td></td><td>に合格・・・ 取得できる。</td></tr><tr><td>大気・・・</td><td>30</td><td>専攻授業科目 の・・・・・・ 取得できる。</td></tr></table>			に合格・・・ 取得できる。	大気・・・	30	専攻授業科目 の・・・・・・ 取得できる。
		に合格・・・ 取得できる。													
大気・・・	30	専攻授業科目 の・・・・・・ 取得できる。													
		に合格・・・ 取得できる。													
大気・・・	30	専攻授業科目 の・・・・・・ 取得できる。													
10	教育 17頁・資料 3-1-B	<table><tr><td>横断科目</td><td>物質、・・・ ・・・に開設。</td><td>物質、・・・ ・・・・ 研究基盤</td></tr></table>	横断科目	物質、・・・ ・・・に開設。	物質、・・・ ・・・・ 研究基盤	罫線の削除 <table><tr><td>横断科目</td><td>物質、・・・ ・・・に開設。</td><td>物、・・・ ・・・・ 研究基盤</td></tr></table>	横断科目	物質、・・・ ・・・に開設。	物、・・・ ・・・・ 研究基盤						
横断科目	物質、・・・ ・・・に開設。	物質、・・・ ・・・・ 研究基盤													
横断科目	物質、・・・ ・・・に開設。	物、・・・ ・・・・ 研究基盤													
11	教育 18頁・資料 3-1-B	<table><tr><td></td><td></td><td>を形成 することが できる。</td></tr></table>			を形成 することが できる。	罫線の削除 <table><tr><td></td><td></td><td>を形成 することが できる。</td></tr></table>			を形成 することが できる。						
		を形成 することが できる。													
		を形成 することが できる。													
12	教育 18頁・資料 3-1-B	【講義科目の特色】 ○ 平成19年・・・・、修了要件 科目に加えた。 ○ 学府共通・・・・・・いる。 ○ 各専攻は、・・・・・・している。 【少人数セミナーの特色】 ○ 少人数による・・・・・・図る。 ○ 英語のテキスト・・・最先端の 研究に触れる。 【演習・実験】 ○ 修士論文・・・・・・いる。 【実習】 ○ 学府として、・・・・・・博士課	文字のずれを修正 罫線の削除 【講義科目の特色】 ○ 平成19年・・・・、修了要件 科目に加えた。 ○ 学府共通・・・・・・いる。 ○ 各専攻は、・・・・・・している。 【少人数セミナーの特色】 ○ 少人数による・・・・・・図る。 ○ 英語のテキスト・・・最先端の 研究に触れる。 【演習・実験】 ○ 修士論文・・・・・・いる。 【実習】 ○ 学府として、・・・・・・博士課												

	頁数・行数等	誤	正
13	教育 19頁・資料3-1-B	程では長期・・・・・・ことにより、 ・・・・・・目指している。	罫線の削除 程では長期・・・・・・ことにより、 ・・・・・・目指している。
14	教育 29-25 下から3行	女子学生担当の・・・・・・、 <u>メンタル ケア</u>	女子学生担当の・・・・・・、 <u>メンタル ケア</u>
15	教育 29-28 下から5行目	<u>調査すること</u> 目的に、・・・・・・ 示 す。	<u>調査することを</u> 目的に、・・・・・・ 示 す。

学部・研究科等の現況調査表（教育） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	教育 31-8 資料 1-1-H	<合計欄の数値の桁ずれ> $\begin{array}{r} 21 \\ \underline{6} \end{array}$	$\begin{array}{r} 216 \\ \underline{0} \end{array}$
2	教育 31-8 資料 1-1-H	<合計欄の数値の桁ずれ> $\begin{array}{r} 19 \\ \underline{1} \end{array}$	$\begin{array}{r} 191 \\ \underline{0} \end{array}$

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 1-5 資料 1-D	東京大学院人文社会系研究科	東京 <u>大学</u> 大学院人文社会系研究科

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 3-3 11 行	タイ国 <u>裁判官</u> に対する <u>研修等</u> の	タイ国 <u>司法府裁判官</u> に対する <u>法務研修</u> 等の

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 6-5 2 行	総額約 <u>28.6</u> 億円	総額約 <u>29.1</u> 億円

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 7-8 18 行	<u>この研究成果は</u>	<u>この研究成果は</u>
2	研究 7-9 19 行	<u>『文部科学省からの</u>	文部科学省からの
3	研究 7-9 20 行	2 年間にわたり <u>。</u>	2 年間にわたり <u>、</u>

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 8-3 12 行	<u>19 年度(11 月)までの</u>	<u>19 年度までの</u>
2	研究 8-3 15 行	<u>1, 686. 903</u> ÷ 524 ÷ 3. 21	<u>1, 686. 933</u> ÷ 524 ÷ 3. 21
3	研究 8-6 下から 6 行	<u>受け入れ</u> 件数及び受入金額	<u>受入</u> 件数及び受入金額
4	研究 8-9 下から 3 行	大型プロジェクト <u>ト</u>	大型プロジェクト <u>ト</u> (文字色の修正)
5	研究 8-10 下から 9 行	<u>高い評価を受けていること、個人成果の最大化、研究活動の質的向上を目指す組織改革の結果が現れていることが</u> <u>と言える。</u>	<u>高い評価を受けており、個人成果の最大化、研究活動の質的向上を目指す組織改革の結果が現れていると言える。</u>

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 9-7 8 行	<u>4. 6</u>	<u>4. 7</u>
2	研究 9-23 5 行	<u>4. 6</u>	<u>4. 7</u>

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 10-7 資料 I -H 田上健一	' <u>2006 年</u> 日本建築学会奨励賞（論文）	<u>2006 年</u> 日本建築学会奨励賞（論文）
2	研究 10-13 資料Ⅲ-A	中島 <u>祥</u> 好	中島 <u>祥</u> 好

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 13-8 資料 1-E 大谷順子	<u>Globalising</u>	<u>Globalizing</u>
2	研究 13-11 資料 1-H 稲葉美由紀	<u>Callenging</u>	<u>Challenging</u>

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 16-3 14 行	論文および講演の発表 <u>題数</u>	論文および講演の発表 <u>論文数</u>

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 17-6 4 行	観点から <u>(</u> 文科省科学研究費補助金、科学技術振興機構：戦略的創造研究推進事業、さきがけ、科学技術振興調整費 <u>)</u> を 獲得	観点から文科省科学研究費補助金、科学技術振興機構：戦略的創造研究推進事業、さきがけ、科学技術振興調整費を獲 得
2	研究 17-7 本文 7 行	平成 17 年度 <u>~</u> 平成 21 年度は	平成 17 年度 <u>～</u> 平成 21 年度は
3	研究 17-9 本文 5 行	<u>バイオインフォマティクス</u> 部門	<u>バイオインフォマティクス</u> 部門

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正												
1	研究 18-2 下から 14 行	1) 「大型研究設備、設備、機器の・・・」	1) 「大型研究設備、設備、機器の・・・」												
2	研究 18-4 資料 I -C	<table><tr><td>①</td><td>H14 ～ 17 年度</td><td>変質 ・・・ 評価</td><td>・・・ は笠原</td><td>国内共 同</td><td>・・・ 研究</td></tr></table>	①	H14 ～ 17 年度	変質 ・・・ 評価	・・・ は笠原	国内共 同	・・・ 研究	罫線削除 <table><tr><td>①</td><td>H14 ～ 17 年度</td><td>変質 ・・・ 評価</td><td>・・・ は笠原</td><td>国内共 同</td><td>・・・ 研究</td></tr></table>	①	H14 ～ 17 年度	変質 ・・・ 評価	・・・ は笠原	国内共 同	・・・ 研究
①	H14 ～ 17 年度	変質 ・・・ 評価	・・・ は笠原	国内共 同	・・・ 研究										
①	H14 ～ 17 年度	変質 ・・・ 評価	・・・ は笠原	国内共 同	・・・ 研究										
3	研究 18-5 資料 I -C	<table><tr><td></td><td></td><td></td><td>三紀夫</td><td></td><td></td></tr></table>				三紀夫			罫線削除 <table><tr><td></td><td></td><td></td><td>三紀夫</td><td></td><td>6,800 円</td></tr></table>				三紀夫		6,800 円
			三紀夫												
			三紀夫		6,800 円										
4	研究 18-9 資料 I -H	<table><tr><td>中国・・・ 物研究所</td><td>Comparison・・・ ・・・ TRIAM-1M</td><td>2005 年度</td><td>出射浩</td></tr></table>	中国・・・ 物研究所	Comparison・・・ ・・・ TRIAM-1M	2005 年度	出射浩	罫線削除 <table><tr><td>中国・・・ 物研究所</td><td>Comparison・・・ ・・・ TRIAM-1M</td><td>2005 年度</td><td>出射浩</td></tr></table>	中国・・・ 物研究所	Comparison・・・ ・・・ TRIAM-1M	2005 年度	出射浩				
中国・・・ 物研究所	Comparison・・・ ・・・ TRIAM-1M	2005 年度	出射浩												
中国・・・ 物研究所	Comparison・・・ ・・・ TRIAM-1M	2005 年度	出射浩												
5	研究 18-10 資料 I -H	<table><tr><td></td><td>Tokamaks</td><td></td><td></td></tr></table>		Tokamaks			<table><tr><td></td><td>Tokamaks</td><td></td><td></td></tr></table>		Tokamaks						
	Tokamaks														
	Tokamaks														
6	研究 18-13 資料 I -N	<u>国内外の結晶成長分野における貢献</u>	MS ゴシック体に修正 <u>国内外の結晶成長分野における貢献</u>												
7	研究 18-15 資料 I -P	<table><tr><td>深海機器・</td><td>・・・,海中</td><td>・・・: 2 人, 2 ヶ月</td></tr></table>	深海機器・	・・・,海中	・・・: 2 人, 2 ヶ月	罫線削除 <table><tr><td>深海機器・</td><td>・・・,海中</td><td>・・・: 2 人, 2 ヶ月</td></tr></table>	深海機器・	・・・,海中	・・・: 2 人, 2 ヶ月						
深海機器・	・・・,海中	・・・: 2 人, 2 ヶ月													
深海機器・	・・・,海中	・・・: 2 人, 2 ヶ月													

	頁数・行数等	誤	正						
8	研究 18-16 資料 I -P	<table><tr><td>置</td><td>測・・・制御</td><td>・・・：3 人, 3 ヶ月</td></tr></table>	置	測・・・制御	・・・：3 人, 3 ヶ月	罫線削除 <table><tr><td>置</td><td>測・・・制御</td><td>・・・：3 人, 3 ヶ月</td></tr></table>	置	測・・・制御	・・・：3 人, 3 ヶ月
置	測・・・制御	・・・：3 人, 3 ヶ月							
置	測・・・制御	・・・：3 人, 3 ヶ月							
9	研究 18-16 資料 I -P	<table><tr><td>ベクトル・</td><td>・・・研究</td><td>・・・：2 人, 3 1 日</td></tr></table>	ベクトル・	・・・研究	・・・：2 人, 3 1 日	罫線削除 <table><tr><td>ベクトル・</td><td>・・・研究</td><td>・・・：2 人, 3 1 日</td></tr></table>	ベクトル・	・・・研究	・・・：2 人, 3 1 日
ベクトル・	・・・研究	・・・：2 人, 3 1 日							
ベクトル・	・・・研究	・・・：2 人, 3 1 日							
10	研究 18-17 資料 I -P	<table><tr><td></td><td></td><td>・・・：3 人, 4 4 日</td></tr></table>			・・・：3 人, 4 4 日	罫線削除 <table><tr><td></td><td></td><td>・・・：3 人, 4 4 日</td></tr></table>			・・・：3 人, 4 4 日
		・・・：3 人, 4 4 日							
		・・・：3 人, 4 4 日							
11	研究 18-19 10 行	<u>4) 生 体 関 係: 平 成 1 9 年 度・・・・</u> <u>・・・・ (の 特 定 研 究 の 成 果)</u>	<u>4) 生体関係：平成 1 9 年度・・・・</u> <u>・・・・ (の特定研究の成果)</u>						

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正																														
1	研究 19-3 16 行	(3)・・・、三菱重工業 <u>((株))</u> 、	(3)・・・、三菱重工業 <u>(株)</u> 、																														
2	研究 19-3 22～25 行	(4)・・・、首都大学東京、 <u>御茶の水女子大学</u> 、農業環境・・・、茨城大学、 <u>御茶の水女子大学</u> 、関西大学、 <u>滋賀県立大</u> 、 <u>首都大学東京</u> 、上智大学、帝塚山大学、徳島大学、 <u>名古屋大学</u> 大学、福岡教育大学、法政大学、山口大学、 <u>筑波大学</u> 、等。	(4)・・・、首都大学東京、 <u>お茶の水女子大学</u> 、農業環境・・・、茨城大学、関西大学、 <u>滋賀県立大</u> 、上智大学、帝塚山大学、徳島大学、 <u>名古屋大学</u> 、福岡教育大学、法政大学、山口大学、等。																														
3	研究 19-3 下から 6 行	(5)・・・、南京理工大学（中国） <u>へ</u> ブライ大学（イスラエル）、・・・	(5)・・・、南京理工大学（中国）、 <u>へ</u> ブライ大学（イスラエル）、・・・																														
4	研究 19-3 下から 3 行	(5)・・・・・・・、韓国エネルギー技術研究院 <u>韓国</u> Chung Nam 大学、・・・等。	(5)・・・・・・・、韓国エネルギー技術研究院、 <u>韓国</u> Chung Nam 大学、・・・等。																														
5	研究 19-9 資料 1-I	<table><tr><td>若手研究 (A)</td><td>研究者</td><td>タイトル</td><td>年度</td><td>総金額 (千円)</td></tr><tr><td></td><td>木戸秋梧</td><td>・・・</td><td>・・</td><td><u>23,250</u></td></tr><tr><td>さきがけ</td><td>安田 剛</td><td>・・・</td><td>・・</td><td><u>40,000</u></td></tr></table>	若手研究 (A)	研究者	タイトル	年度	総金額 (千円)		木戸秋梧	・・・	・・	<u>23,250</u>	さきがけ	安田 剛	・・・	・・	<u>40,000</u>	MSP 明朝体に修正 <table><tr><td>若手研究 (A)</td><td>研究者</td><td>タイトル</td><td>年度</td><td>総金額 (千円)</td></tr><tr><td></td><td>木戸秋梧</td><td>・・・</td><td>・・</td><td><u>23,250</u></td></tr><tr><td>さきがけ</td><td>安田 剛</td><td>・・・</td><td>・・</td><td><u>40,000</u></td></tr></table>	若手研究 (A)	研究者	タイトル	年度	総金額 (千円)		木戸秋梧	・・・	・・	<u>23,250</u>	さきがけ	安田 剛	・・・	・・	<u>40,000</u>
若手研究 (A)	研究者	タイトル	年度	総金額 (千円)																													
	木戸秋梧	・・・	・・	<u>23,250</u>																													
さきがけ	安田 剛	・・・	・・	<u>40,000</u>																													
若手研究 (A)	研究者	タイトル	年度	総金額 (千円)																													
	木戸秋梧	・・・	・・	<u>23,250</u>																													
さきがけ	安田 剛	・・・	・・	<u>40,000</u>																													
6	研究 19-10 資料 2-A	<table><tr><td>年度</td><td>平成 18 年度</td><td>平成 19 年度</td></tr><tr><td>発表件数</td><td>2</td><td><u>3</u></td></tr><tr><td>発表件数 (同一研究室を除く)</td><td><u>6</u></td><td><u>5</u></td></tr></table>	年度	平成 18 年度	平成 19 年度	発表件数	2	<u>3</u>	発表件数 (同一研究室を除く)	<u>6</u>	<u>5</u>	MS 明朝に修正 <table><tr><td>年度</td><td>平成 18 年度</td><td>平成 19 年度</td></tr><tr><td>発表件数</td><td>2</td><td><u>3</u></td></tr><tr><td>発表件数 (同一研究室を除く)</td><td><u>6</u></td><td><u>5</u></td></tr></table>	年度	平成 18 年度	平成 19 年度	発表件数	2	<u>3</u>	発表件数 (同一研究室を除く)	<u>6</u>	<u>5</u>												
年度	平成 18 年度	平成 19 年度																															
発表件数	2	<u>3</u>																															
発表件数 (同一研究室を除く)	<u>6</u>	<u>5</u>																															
年度	平成 18 年度	平成 19 年度																															
発表件数	2	<u>3</u>																															
発表件数 (同一研究室を除く)	<u>6</u>	<u>5</u>																															

	頁数・行数等	誤	正
7	研究 19-13 資料 3-C	資料 3-C 受託研究 <u>受け入れ</u> 状況	資料 3-C 受託研究 <u>受入</u> 状況
8	研究 19-13 資料 3-D	資料 3-D 奨学寄付金 <u>受け入れ</u> 状況	資料 3-D 奨学寄付金 <u>受入</u> 状況
9	研究 19-13 資料 3-E 2 行	<u>辻正治</u>	<u>辻 正治</u>

学部・研究科等の現況調査表（研究） 正誤表

	頁数・行数等	誤	正
1	研究 20-3 6 行	<u>の</u> っ <u>と</u> っ <u>て</u>	<u>則</u> っ <u>て</u>
2	研究 20-3 17 行、19 行 研究 20-5 1 行、4 行	もう <u>ひ</u> と <u>つ</u>	もう <u>一</u> と <u>つ</u>
3	研究 20-4 13 行 研究 20-10 5 行	<u>き</u> わ <u>め</u> て	<u>極</u> め <u>て</u>
4	研究 20-6 11 行	全国 7 つ	全国 <u>に</u> 7 つ